

8/19 教育委員会委員に小倉和也さん



小倉和也さん

平成23年旭市議会第2回定例会で、議会の同意を得た小倉和也さん(高生・新任)が、8月19日付で、教育委員会委員に任命されました。任期は4年です。

8/13 「思い出の品」を求めて



写真をのぞき込む来場者

写真の中から、思い出の写真を探し出そうと一枚一枚丹念に確認する来場者の姿がありました。

飯岡体育館で8月13～15日の3日間、東日本大震災による津波などで流出した、写真や手紙、ランドセルなどが公開され、持ち主などへの返却も行われました。数多くの写

8/28 飯岡F Cが高学年の部を制す！



優勝のメダルを胸にする飯岡F Cの選手たち

第17回「飯岡しおさいカップ大会」が、旭スポーツの森公園と東総運動場を会場に開催されました。

高学年の部では、市内外から16チームが出場する中、飯岡F Cがトーナメントを制し、見事優勝に輝きました。選手たちは「うれしい」「次も優勝だ」と話していました。

9/4 50年目は網戸スターズが優勝



優勝した網戸スターズ

市の少年野球大会開催50年目を記念した「旭市少年野球第50回記念大会」が、8月20日からスポーツの森公園野球場などで行われました。優勝すれば、10月22日からの県大会(ろうきん旗争奪戦)へ出場できるとあって、参加した市内11チームは気合十分。予選リーグから争われた大会は、9月4日に決勝が行われ、網戸スターズの優勝で幕を閉じました。

第7回旭市児童生徒科学作品展

頑張った夏の力作大集合！



入賞した子どもたちとその父兄

市内小中学生の夏休みの工作や研究論文を展示した作品展が9月10日、海上公民館で開かれました。各校を代表する作品509点が並んだ会場は、親子連れなどでにぎわっていました。入賞13作品のうち、優秀作品8点が県展に出品されました。県展出品者は次のとおり。



県展出品の一つ「森のダンスパーティー」井手本さん作

工作／井手本菜央(嚶鳴小・1年)、柴田結衣(萬歳小・3年)、神崎大貴(共和小・2年)、向後綾夏(滝郷小・4年)
論文／溝口紘大(飯岡中・1年)、田村尚子(琴田小・3年)、宮内淳志(三川小・5年)、岩井実都紀(中央小・6年)
※敬称略

旭市暴力団排除対策協議会設立総会

暴力団排除へ向け官民が一致団結



左から、宣言書掲げる旭市建設業災害対策協力会の阿部会長(副会長)、市長(会長)、旭警察署の佐久間署長(顧問)

暴力団などが資金獲得のため、震災からの復旧・復興事業に介入し、活動することが心配されています。市では8月22日、この復旧・復興事業をはじめとする全ての公共事業からの暴力団排除を徹底するため、市内建設業者、千葉県警や関係団体と「旭市暴力団排除対策協議会」を設立しました。総会では、相互に連携を図り、暴力団排除を推進することを目的とした宣言がされました。また9月21日には、管工事や電気設備業者も会に加わり、より一層の連携が図られるようになりました。

い おかユートピアセンターで8月24日、講演会と歌のステージで旭を元気づけようと、復興イベントが開催され、被災者など約800人が訪れました。「こころ元気に生きる」と題した講演会では、こころ元気研究所長の鎌田敏さんが、前向きになるための物事の考え方などを話しました。講演会終了後、坂本冬美さんらテレビでなじみの女性演歌歌手6人がステージに上がると、会場の雰囲気もがらりと変わり、楽しいトークや歌で、会場は大いに盛り上がっていました。出演者たちが観客席に下りて来ると、観客たちはうれしそうに握手を求めたり、記念撮影をしたりしていました。家が全壊したという女性は「こんなことはめったにない。心が和やかになった」と、笑顔で話していました。



会場一つになって「上を向いて歩こう」などを合唱
(左から坂本冬美、原田悠里、藤あや子、谷本知美、森山愛子、松川未樹 ※敬称略)



周りを囲まれ写真撮影や握手攻めにあう出演者

歌やトークで心和むひととき

県民の日海匠地域行事&演歌キャラバン隊

米粉を使った親子料理教室

親子で楽しむ米粉料理

萬 歳地区多目的研修センターで8月26日、米粉を使った料理教室が行われ、市内の親子11組24人が参加しました。お母さんと参加した男の子は「普段はあまりお手伝いしないけど、切ったりするのは楽しい」と夢中で野菜を切っていました。親子で協力しながら、クリームシチュー、豆腐入り白玉だんご、おやき、シフォンケーキの4品を作った参加者。途中味見をした子どもたちは「おいしい」「良くできた」などと満足気に話していました。



お父さんお母さんと協力して笑顔で野菜を切る参加者

旭市復興計画検討委員会

市の復興へ検討始まる



真剣なまなざしで資料に目を通す委員

有 識者や各種団体、市民の代表者など19人を委員に迎え8月19日、第1回旭市復興計画検討委員会が働く婦人の家で行われました。委員長に選ばれた千葉科学大学の船倉武夫教授が議長を務める中「復興計画骨子(案)」について、委員それぞれの立場から、市の復興に向けたさまざまな意見や提案が出されていました。